

市町村名	渡名喜村						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	渡名喜村観光PR事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	島の魅力やイメージを積極的に発信し、島の知名度を高めるため、オリジナルキャラクター及び観光PR用ビデオなどを制作する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度
		(a)当初予算額	14,726	0			
		(b)予算現額	10,441	0			
		(c)増減額(b-a)	▲4,285	0			
		(d)繰越額	-	8,660			
	A. 計(b+d)	10,441	8,660				
		B. 執行済額					
		うち交付金充当額	1,468	6,884			
		次年度繰越額	8,660	0			
	執行率(%) (B/A)	17.6%	99.4%				
予算の状況の説明	オリジナルキャラクター製作等については年度内に完了したが、観光PR用動画の製作について映像素材の確保に時間を要したこと、多言語パンフレットの製作については、画像素材の確保に時間を要したこと、説明文の校正に時間を要したことから、8,606千円を翌年度へ繰り越した。現年度において、入札残により4,285千円の減額補正を行ったこと、繰越年度の54千円についても入札残による不用であることから、おおむね予算執行については適正であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
				26年度	27年度	28年度	29年度
	募集用ポスター・パンフレット製作・選考	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施完了				
	オリジナルキャラクターの製作	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施完了				
	PR映像の作成	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施完了				
	達成状況説明	オリジナルキャラクターの名称やデザイン募集用のポスターについての製作を行い、それを活用し、一般住民や一般観光客からオリジナルキャラクターの公募を行うことができた。選考委員会を通して選定を行い、キャラクターの製作を実施することができた。PR用の映像やパンフレットの作成については、映像素材の確保の面から繰越す必要が生じたものの、翌年度において予定どおり完成させることができ、活動目標を全て達成することができた。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度
オリジナルキャラクターの完成		目標	()	(1体)	()	()	()
		実績		1体			
PR映像の完成		目標	()	(BD,DVD 各30枚)	()	()	()
		実績		BD,DVD各30枚			
進捗状況説明		オリジナルキャラクターは予定どおりH26年度内に完成したが、PR映像制作については、年間を通し映像を撮影する必要があったために、次年度へ繰越したが、次年度内に予定通り完成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	これまで本村を対外的にPRする場面において、一般に広く印象付けるとい点においても、他の自治体のような象徴とできる存在がなく、本村の魅力PRのため宣伝用資材も少ない状況であったところ、本事業により、それらを充実させることができた。これにより島外に対し、それらの宣伝用資材を活用し、島の魅力を十分にアピールしていく体制が整ったところである。	今後は本事業により整備された宣伝用資材を、イベント等での活用を推進するなど、島の魅力を伝える効果的、効率的な方策を模索し続けていくことにより、渡名喜島ファンを拡大させる手法を確立させて行く必要がある。
今後の取り組み方針		
今後の具体的な活用方針として、当面は、となき祭りや、本島などで開催される離島フェアなどの各種イベントにおいて本事業による成果物の活用を行うほか、フェリーターミナルなど、観光客が利用する施設などにおいても、観光PR映像等の活用ができないか検討を行い、渡名喜島のPRおよび誘客を実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,441</td><td>10,441</td><td>8,352</td><td>2,089</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,441	10,441	8,352	2,089	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,441	10,441	8,352	2,089	0										
<pre> graph LR A[渡名喜村 10,441千円] --> B[委託料 10,441千円] B --> C["(株)プレーン沖縄 1,835千円"] B --> D["(株)沖縄映像センター 8,606千円"] C --- E["オリジナルキャラクター制作等 にかかる委託業務"] D --- F["観光PR動画制作等にかかる 委託業務"] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定方法については、指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については3社以上の見積もりを参考にした適正な設計により必要最小限の価格で予算措置をしており適正であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用、使途ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費用、使途ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であった。											

市町村名	渡名喜村						
平成 2 6 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	里御嶽参道整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	経済課	事業実施（予定）年度	平成 2 6 ～ 2 7 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本村の観光名所である里御嶽の観光客受入体制を強化するため、里御嶽への参道周辺の整備を行う。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度
		(a) 当初予算額	85,451	0			
		(b) 予算現額	92,942	0			
		(c) 増減額（b-a）	7,491	0			
		(d) 繰越額	—	61,267			
	A. 計（b+d）	92,942	61,267				
		B. 執行済額		30,736	61,267		
		うち交付金充当額		24,589	48,764		
		次年度繰越額		61,267	0		
	執行率（％）（B/A）		33.1%	100.0%			
予算の状況の説明		12月～1月にかけて船の欠航が重なり、資材の搬入や作業員の確保が困難となり、日程調整等により不足の日数を要したことから工事費58,707千円、工事現場技術業務委託費2,560千円合計61,267千円については、平成27年度へ繰越した。繰越した事業については入札などの手続きを踏まえ、計画どおり全て執行できたことから、予算の規模・執行ともに適切であった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
	実 績	実施完了					
達成状況説明	工事を一部次年度へ繰越したが、工事が無事完了し、観光客や地域住民から喜ばれている。達成状況は、平成26年度に調査測量設計が完了し、工事も年度内に契約したが諸般の事情により次年度へ繰越し無事完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（ 年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（ 年度）
	目 標	（ ）	（ ）	①1力所 ②400m ③1基 ④5基 ⑤400m	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		①1箇所 ②400m ③1基 ④5基 ⑤400m			
	進捗状況説明	これまで参道の転落防止柵等が塩害や老朽化のため腐食し、安心して通行できなかったが、平成27年5月に計画通り工事が完了し、住民や観光客の安全を守り、安心して通行できるようになって住民や観光客から喜ばれている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	標高70mの高さのある里御嶽参道は、村の魅力である伝統的集落景観や美しい白砂の海岸、自然度の高い山丘などの風景を一望できる観光名所として、村を訪れる観光客にとって島を印象付ける観光的財産であることから、観光客受入態勢を強化し、参道の安全性を確保するため、参道へ転落防止柵を設置し、参道を快適に散策できるように整備した。	里御嶽の島外における認知度は高くないので、島外に対しその魅力をPRし、渡名喜島における観光資源としてより活用できるように広報活動を実施していく必要がある。
今後の取り組み方針		
里御嶽において観光客の受入体制確保、安全確保ができたことから、今後は安心・安全な観光地としての里御嶽の知名度向上を図るべく、ガイドブックやホームページによりタイムリーな情報を提供し、誘客を実施し、観光資源としての活用を図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>92,003</td><td>92,003</td><td>73,353</td><td>18,650</td><td>0</td></tr> </table> 渡名喜村 92, 003千円 委託料 7,960千円 工事請負費 84, 043千円 (有)洲測量設計 5,400千円 (有)洲測量設計 2,560千円 (有)国風建設 84,043千円 調査測量設計にかかる委託業務 工事現場技術にかかる委託業務 工事施工にかかる請負業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	92,003	92,003	73,353	18,650	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
92,003	92,003	73,353	18,650	0										
資金の流 使途の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 使途の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定方法については、指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	・予算規模については3社以上の見積もりを参考にした適正な設計により必要最小限の価格で予算措置をしており適正であった。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費用、使途ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であった。											

市町村名		渡名喜村						
平成 2 6 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		7－① 東浜ビーチ公衆便所・シャワー室整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－3－（2）－ウ		
担当部課名		総務課		事業実施（予定）年度 平成 2 6 ～平成 2 7 年度		観光客の受入体制整備		
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ－1（1）		
事業内容		島を訪れる観光客が安心・安全・快適な観光ができるように、観光に不可欠なトイレ、シャワー室の施設を整備し、観光地として評価されるまちづくりを形成する。						
実施方法		■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度
		予算の状況	(a) 当初予算額	42,777	0			
			(b) 予算現額	47,460	0			
			(c) 増減額（b-a）	4,683	0			
			(d) 繰越額	-	29,895			
			A. 計（b+d）	47,460	29,895			
		B. 執行済額		16,869	29,895			
		うち交付金充当額		13,495	23,916			
		次年度繰越額		29,895	0			
		執行率（％）（B/A）		35.5%	100.0%			
予算の状況の説明		実施設計委託業務は年度内での完了であったが、事業の内容について、村の伝建審議委員会の審査を受ける必要があったことで不測の日数を要したことから工事費28, 275千円、工事現場技術業務委託費1, 620千円については、平成27年度に繰越し、予定していた事業内容は平成27年度内に計画どおり全て完了できた。						
活動目標（指標）及び達成状況		H26活動目標（指標）		達成状況				
				26年度	27年度	28年度	29年度	
		目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		東浜ビーチ公衆便所・シャワー室整備に係る測量・設計・工事の実施	実 績	実施完了				
達成状況説明			平成27年度で第97回を迎えた、渡名喜幼小中学校の水上運動会時の幼児、児童、生徒や地域住民・観光客等の海水浴場の利用安定化につながっており、観光客や地域住民から喜ばれている。達成状況は、平成26年度に実施設計が完了し、年度内に契約した工事の一部を次年度に繰越し無事完了した。					
成果目標（指標）及び進捗状況		H26成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
		東浜ビーチの公衆便所・シャワー室整備による観光客受入体制強化の完了	目 標	（ ）	受入体制の強化を図る。	（ ）	（ ）	（ ）
			実 績		受入体制の強化が図られた。			
進捗状況説明		東浜ビーチの既存の公衆便所・シャワー室の老朽化による使用不能の状態であったが、平成27年6月に工事が完成し、施設が国の重要伝統的建造物群選定地区にふさわしい施設に整備され、地域住民・観光客・障がい者が安心して利用できる施設として、観光客等からの評判もよく、受入体制の強化が図られたものと考えている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	東浜ビーチは、地域住民や島を訪れる観光客にとって、夏場の海水浴ができる渡名喜村唯一の海水浴場である。本施設は伝統的な集落の景観に沿った施設として整備されており、白い砂浜のビーチとあわせて、村を訪れる観光客に対しての島の観光的財産として受け入れられるよう、ビーチを利用する観光客等が東浜公衆便所・シャワー室を安心して利用できる施設に整備したところである。 今後は本施設も活用しつつ、東浜ビーチやそこで行われる水上運動会などを観光資源として活用し誘客を行っていく必要がある。	東浜ビーチで行われる学校行事である渡名喜幼・小・中学校の水上運動会は全国的に認知度が高く、平成30年度に第100回を迎える行事であるが、いつ実施される予定なのか等の情報提供が不足している状況にあり、観光資源としていかしきれていないので、島内のみならず情報を島外へ向け提供するなど改善していく必要がある。
今後の取り組み方針		
渡名喜村の観光名所である東浜ビーチの利便施設が整備されていることを周知するとともに、東浜ビーチで行われる水上運動会等の情報を事前事後にホームページや村広報誌等により情報提供するなどをして、観光資源として東浜ビーチを活用し、誘客を図っていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46,764</td><td>46,764</td><td>37,411</td><td>9,353</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 渡名喜村 46,764千円 委託料 6,372千円 工事請負費 40,392千円 (有)め～ばる 設計工房 4,752千円 (有)め～ばる 設計工房 1,620千円 (有)南風原 工務店 40,392千円 実施設計にかかる委託業務 工事現場技術にかかる委託業務 工事施工にかかる請負業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	46,764	46,764	37,411	9,353	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
46,764	46,764	37,411	9,353	0										
資金の 使途の 流れ 検証・ 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定方法については、指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案して上で選定しており妥当であったと考えている。 ・予算規模については3社以上の見積もりにより必要最小限の予算規模で設計をし、補助基準内であり適正であった。 ・費用、使途ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		渡名喜村						
平成 2 6 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		10—①		渡名喜村南利便施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		
担当部課名		総務課		事業実施（予定）年度	平成 2 6 ～平成 2 7 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		
事業内容		渡名喜漁港を利用する漁業者、村民、島を訪れる観光客や釣り人等が安心・安全に漁業や観光ができるよう、漁港に隣接する地域にトイレ施設を整備し観光地として評価されるまちづくりを形成する。						
実施方法		■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				26年度	26年度（繰越）	27年度	28年度	29年度
		予算の状況	(a) 当初予算額	29,277	0			
			(b) 予算現額	29,277	0			
			(c) 増減額 (b-a)	0	0			
			(d) 繰越額		27,258			
			A. 計 (b+d)	29,277	27,258			
		B. 執行済額		1,944	23,922			
		うち交付金充当額		1,555	19,137			
		次年度繰越額		27,258	0			
		執行率（％）(B/A)		6.6%	87.8%			
予算の状況の説明		実施設計委託業務は年度内での完了であったが、渡名喜村が国の重要伝統的建造物群選定地区であるため、事業を村の伝建審議委員会の審査に日数を要したことから工事費26, 227千円、工事現場技術業務委託費1, 031千円については、平成27年度に繰越し、繰越した事業について不要額が3, 336千円発生したが、全て繰越後に行った契約の入札落が原因であり、適正であった。実績としては予定していた事業についてはH27年度内に全て完了することができた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	目標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）			
	実績	実施完了						
達成状況説明	既存の漁港近くの公衆トイレが老朽化により使用不能の状況であり、来島する観光客や地域住民以外に外来の漁船・遊漁船の利用者や、村内の漁業従事者等が夜間等も安心して利用でき、地域住民・観光客等から喜ばれている。達成状況は、平成26年度に実施設計が完了し、工事については、次年度に繰越し無事完了した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）	
	目標	（ ）	（ ）	受け入れ体制強化を図る	（ ）	（ ）	（ ）	
	実績			受け入れ体制強化の完了				
	進捗状況説明	既存の使用不能となっていた施設を撤去し、重要伝統的建造物群選定地区にふさわしい施設に整備することで、観光客受入体制の整備がなされた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	漁港付近におけるトイレについて、本事業により国の重要伝統的建造物群選定地区である本村の集落景観にふさわしい施設として整備されるとともに、利用者が安心・快適に利用できるようになった。 これにより、観光客の外出時の快適な環境を形成できているが、整備前の施設のように、使用不能の状態とならないこと、観光客等が施設の場所が把握できるように情報提供を行うことについて留意する必要がある。	既存の施設については使用不可となっていた状況があったことを踏まえ、本施設については、景観の面および衛生の面からの適切な維持管理及び清掃を行うよう努める必要があるほか、快適な外出環境が提供されていることがわかるよう、必要に応じて観光客等へ情報提供を行うための手段を検討する必要が想定される。
今後の取り組み方針		
渡名喜村を訪れる観光客等の受入体制の強化や地域住民の利便性の向上を図るべく、安心・安全な観光用利便施設として必要な施設が整備されていることや、集落景観を形成する一部として整備されていること等を、必要に応じ村のHPや広報誌による手法などで情報提供を実施していくものとし、島としての適切な誘客対策を実施していくことで、施設そのものの利活用にもつなげていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25,866</td><td>25,866</td><td>20,692</td><td>5,174</td><td></td></tr> </tbody> </table> 渡名喜村 25,866千円 委託料 2,916千円 工事請負費 22,950千円 (有)め～ばる 設計工房 1,944千円 (有)め～ばる 設計工房 972千円 (有)南風原工務店 22,950千円 実施設計にかかる委託業務 工事現場技術にかかる委託業務 工事施工にかかる請負業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	25,866	25,866	20,692	5,174	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
25,866	25,866	20,692	5,174											
資金の 使途の 流れ 点検・ 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定方法については、指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案して上で選定しており妥当であったと考えている。 ・予算規模については3社以上の見積もりにより必要最小限の予算規模で設計をし、補助基準内であり適正であった。 ・費用、使途ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												